

一般社団法人LOCALの紹介

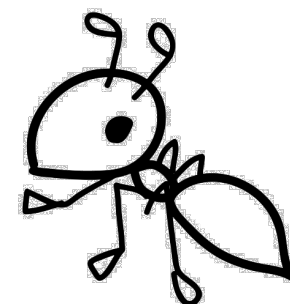
2021年1月1日
一般社団法人LOCAL

一般社団法人LOCALとは？

- URL : <https://www.local.or.jp/>
- 北海道における、技術系地域コミュニティ（IT勉強会等）の活動を支援し、コミュニティ間の連携イベント企画開催等をとおして、地域を盛り上げていくことを目標とする有志の集まり
- 所属企業、年齢、立場の垣根を超え、現役のIT技術者および技術者を目指す学生が多数所属
- 理事:7名、正会員_(理事含):31名、賛助会員:3名
ML会員:176名

マスコット「ろかんと君」の由来

蟻 …「義」の虫
1匹1匹の力は弱いけど、
集まると結構いい仕事をするよ



法人会員(Platinum)



法人会員(Gold)

募 集 中

法人会員(Silver)

サーバー提供スポンサー

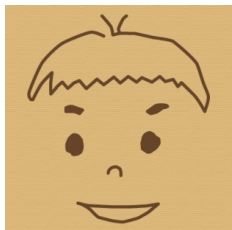


組織構成



代表理事
澤田 周

株式会社インフィニットループ
JPUG北海道支部 等



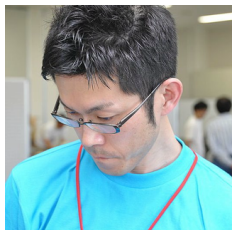
理事
小岩 秀和

ビットスター株式会社
DoLUC 等



理事
西原 翔太

サイボウズ株式会社
ゆるい勉強会@旭川, FuraIT 等



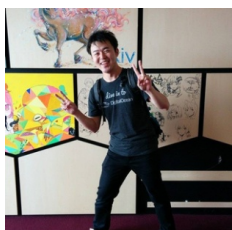
理事
齋藤 和芳

丸中釧路中央青果株式会社
釧路OSSコミュニティ 等



理事
三谷 公美

さくらインターネット株式会社
ISOC-JP 等



理事
菅井 祐太郎

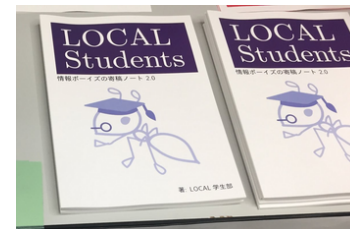
株式会社はてな
Asakusa.rb 等



理事
八巻 正行

株式会社クレスコ
北海道情報セキュリティ勉強会 等 3

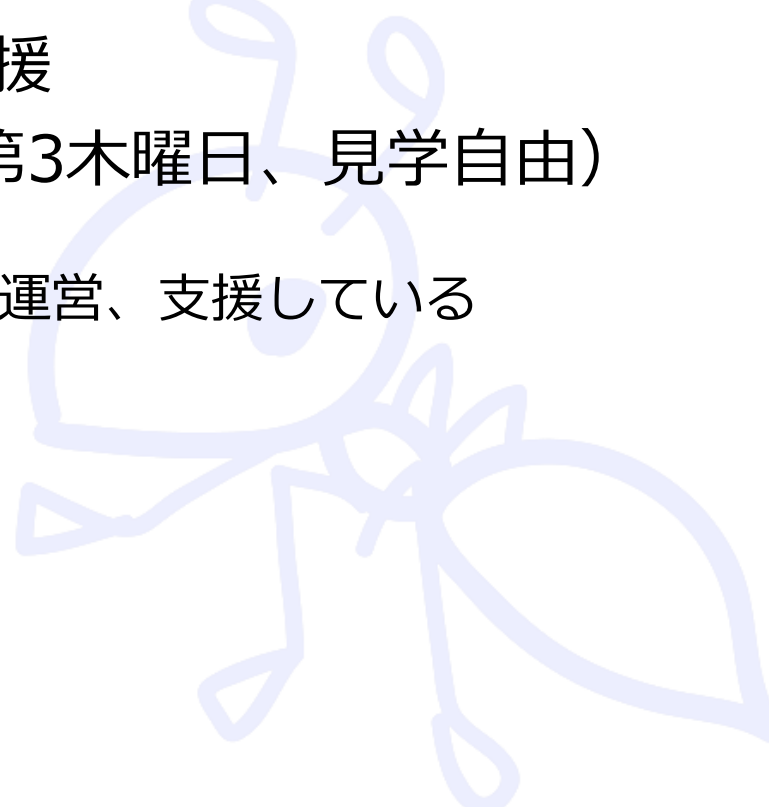
- 学生によるIT勉強会の開催
- 学校を横断した交流、合同イベントの企画
- 現在は30名以上が在籍
- 卒業後、IT技術者として成長した先輩達との交流も生まれている



年代	主な出来事
2004年	GoDo2004 開催 - 北海道で初のコミュニティ主導によるOSSイベント
2005年	OSC2005 Hokkaido 開催 - OSCとして初の地方開催
2008年	任意団体LOCAL 結成
2009年	一般社団法人LOCAL 設立 - IPAより「日本OSS奨励賞」受賞
2009年	LOCAL学生部総大会 初開催
2009年	LOCAL Developer Day 初開催
2015年	LOCAL Community Summit 初開催
2016年	北海道地域情報セキュリティ連絡会（HAISL） 加盟
2018年	内閣府「青少年のインターネット環境整備に取り組む民間団体活動事例集」へ掲載

- IT勉強会イベント、技術者交流イベントの企画、運営
- 大規模ITイベントの運営支援
- 勉強会へ参加したい学生の交通費支援
- 道内ITコミュニティの活動支援
- 月1回、定例会を開催（毎月第3木曜日、見学自由）

… 以降のページでLOCALが企画、運営、支援している
代表的なイベントを紹介



- LOCALが主催する、コミュニティ横断型、地域特化型のIT勉強会イベント
- 北海道内で活動している様々なコミュニティと連携しながら、それぞれの技術や地域の特色を活かしたテーマで開催



- 「地元を離れ首都圏で活躍している技術者や、いろんな地域のコミュニティと繋がろう！」というテーマのもと、LOCALが北海道を飛び出し、東京で開催しているIT勉強会・技術者交流イベント
- 2017年、2019年は札幌市のI・J・Uターンイベント「#札幌移住計画」と合同開催



- 1日で50以上のセミナーを行うオープンソースソフトウェアの文化祭、道外からも参加者多数
(2019年来場者数：720名)
- 2005年の北海道初開催（東京以外での初開催）以降、継続して地元側の運営を支援



- 25歳以下の大学院生、学生、生徒を対象とした、情報セキュリティ人材発掘、育成イベント
- LOCALは北海道大会の主催団体として、参加学生の支援、地元側の企画運営全般を担当

2018年11月29日 読売東京 朝刊 道社A 135版 31頁



"identity" と "identifier" の例を グループディスカッション

専門講座



2017年11月11日



他ホコ



その他の動画

育て 正義のハッカー

サイバー攻撃対策 活躍期待

ミニ合宿児童も挑戦
道警と高専 育成連携

【道庁発表】道庁は、道内でも唯一のハッカー・セキュリティ育成施設として、道庁警務部と道立高専（道立高専）が連携して、道内各地の中学生、高校生を対象とした「ミニ合宿」を開催している。このミニ合宿は、道庁警務部と道立高専が連携して、道内各地の中学生、高校生を対象とした「ミニ合宿」を開催している。このミニ合宿は、道庁警務部と道立高専が連携して、道内各地の中学生、高校生を対象とした「ミニ合宿」を開催している。

U-16プログラミングコンテスト

- 競技部門と作品部門で構成される、16歳以下を対象としたプログラミングコンテスト
- LOCALは札幌大会の共催団体として、事務局機能の提供をはじめ、大会運営全般を担当



- ICTを取り巻く課題をテーマに、全国各地の高校生が議論、意見をまとめ、関係府省庁等に提言する大会
- LOCALは札幌大会協力団体として、司会進行、ファシリテーター派遣等、運営全般に協力



- 学校や保護者を対象とした、スマートフォンやインターネットを安全、適切に利用するための情報モラル、セキュリティ啓発セミナー
- LOCALでは、特に自力開催が難しい遠隔地を中心に、講師派遣、運営スタッフ派遣、講師育成などで協力
- 大学教職員向け、自治体職員向けセミナーも実績あり



- ・ 遠隔地在住で金銭的理由により勉強会に参加し辛い学生へ、交通費の一部を補助
- ・ 学生の勉強会参加費、道内コミュニティが主催するイベントへの金銭支援、人的支援



LOCAL » LOCAL 学生交通費支援制度

← → ↺ 🏠 <https://www.local.or.jp/about/students-transportation-expenses-support> ...

LOCAL
Leading Organization of Community Activity for LOCAL
<https://www.local.or.jp/>

ホーム LOCALについて 最近の活動 部活動 お問い合わせ

LOCAL 学生交通費支援制度について

2012年07月31日 18:39

【趣旨】

一般社団法人LOCALでは「学生もいろんな勉強会に参加してほしい!」と思っています。
そこで、遠距離で交通費の支出が難しい学生向けに「学生交通費支援制度」を用意しています。
各勉強会コミュニティの主催者様は下記内容をご確認のうえ、ぜひご利用ください。

【支援内容】

- ・ 学生1人あたり2,000円を上限とし、往復交通費の半額相当の金券(図書カードやQUOカード等)を支給します。(端数は、250円以上は切り上げ、250円未満を切り捨てます)
- ・ 自家用車で相乗りする場合、代表者1名にのみ支給とします。
- ・ 支給額が500円を下回る場合は対象外とします。(概ねイベント開催地近郊の学生は支援対象外となります)
- ・ 定期券を持っている場合、定期券で移動可能な範囲は対象外とします。

最近の記事

- 2019年7月18日(木) 第11回社員総会
- 2019年6月20日 (木) 6月定例会
- LOCALは、『ソフトウェアテストシンポジウム 2019 北海道 (JaSST'19 Hokkaido) 』を後援しています!
- LOCALは「SecHack365 次年度説明会 (北海道)」に参加する学生の交通費を支援します
- 2019年5月16日 (木) 5月定例会

カテゴリ

- お知らせ (44)
 - 感謝状 (18)
- イベント情報 (302)

会員制度について

会員種別	年会費	総会での議決権	会員特典・備考
正会員	10,000円 ※1	あり	名刺を持つことが可能 ※1：学生の正会員（学生会員）の年会費は、12-18歳まで:1,000円、大学等卒業まで:2,000円
ML会員	なし	なし	
賛助会員	10,000円	なし	
法人会員 (Silver)	10,000円	なし	特典は次頁。総会資料を元にご検討いただくため期間は 9/1 – 8/31。
法人会員 (Gold)	50,000円	なし	上に同じ
法人会員 (Platinum)	100,000円	なし	上に同じ

法人会員の特典について

法人会員 種別	会員特典・備考
Silver	●LOCAL 主催イベントでの法人会員スポンサーリスト掲載 ●LOCAL Web サイト会員ページに社名、ロゴ(中)、URL の掲載 ※ Gold, Platinum の場合、ロゴ(大)、説明文の掲載が追加可
Gold	上記に加え、 ●全 LOCAL 主催イベントと学生交通費支援対象イベントにおいてチラシ、ノベルティの配布可 ●イベントクリップ「サポートくださっている会社コーナー」に社名掲載（LOCAL 公式 Web からダウンロード可） ●LOCAL スポンサーページに動画またはスライド資料掲載
Platinum	上記に加え、 ●LOCAL MLで自社事業イベントの紹介可（頻度は応相談） ●LOCAL 主催イベントで年度内に一度だけスポンサーセッション 10 分を組み込める（オンライン・オフラインどちらも OK）

技術者文化の醸成

- 互いに尊敬し、認め合い、高めあえる人・企業との横のつながり
- 世代を超えて継承し、相談できる縦のつながり
- 互いの得意分野を発揮し、協力しあえる環境、そのベースとなる信頼感
- **「北海道で技術者として幸せになるために」、地域を楽しくするための手段、HUBとして、LOCALというしくみを利用してもらいたい**